

大館クリーンセンター基幹的設備改良工事・運営事業  
事業者選定結果

令和元年 11 月

大館市

令和元年9月13日に民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律第7条に基づき特定事業として選定した、大館クリーンセンター基幹的設備改良工事・運営事業（以下「本事業」という。）について、大館市一般廃棄物焼却施設整備事業評価委員会（以下「評価委員会」という。）による審査結果を踏まえ、本事業を実施する民間事業者の選定を行ったので、同法第11条に基づき、その評価結果を公表する。

令和元年11月20日

大館市長 福原 淳嗣

## 目 次

第 1.	審査等の経過 .....	1
第 2.	資格審査結果 .....	2
第 3.	提案評価結果 .....	3
1	評価委員会の設置 .....	3
2	評価委員会の開催経過 .....	3
3	提案評価結果 .....	3
第 4.	総評 .....	6
第 5.	優先交渉権者の選定 .....	6

## 第1. 審査等の経過

大館市（以下「市」という。）は、本事業における優先交渉権者を選定するにあたり、資格審査及び提案審査を実施した。

本事業においては、令和元年5月の実施方針公表後に実施した市場調査の結果、公募プロポーザル等により本事業を実施する民間事業者を選定することが適さないと判断し、優先交渉権者を選定した上で、随意契約により民間事業者と契約を締結することとした。

優先交渉権者の選定にあたっては、評価委員会において、本事業への参加者に技術提案書等の提出を求め、参加者の提案を総合的に評価した。また、1グループの場合においても質の高い提案を求めるため、評価委員会において一定水準以上の点数を獲得することを、優先交渉権者選定の要件とした。

## 第2. 資格審査結果

市は、令和元年9月24日に資格審査書類を提出した以下の参加者について、参加資格要件を全て満たしていることを確認した。

図表 1 参加者の構成

参加者名	代表企業	協力企業
エコマネジグループ	大館エコマネジ株式会社	【協力企業】 日立造船株式会社 東北支社 DOWA 通運株式会社 エコシステム花岡株式会社

### 第3. 提案評価結果

#### 1 評価委員会の設置

市は、提案評価に際して、学識経験者等により構成する大館市一般廃棄物焼却施設整備事業評価委員会を設置し、意見を聴取した。評価委員会の委員は以下のとおり。

図表 2 大館市一般廃棄物焼却施設整備事業評価委員会 委員

委員名（敬称略）	所属・役職等
柴山 敦	国立大学法人秋田大学大学院国際資源学研究科教授
鶴田 俊	公立大学法人秋田県立大学システム科学技術学部機械工学科教授
小笠原 慎一	小笠原慎一税理士事務所税理士
古井 正隆	秋田県生活環境部環境整備課長
名村 伸一	大館市副市長

#### 2 評価委員会の開催経過

市は、評価委員会を計3回開催した。評価委員会における審議等の経過は以下のとおり。

図表 3 事業者選定評価委員会の開催日及び審議等の概要

No	開催日	審議等の概要
第1回	平成31年3月28日（木）	委員長・副委員長の選任 実施方針案の検討
第2回	令和元年8月30日（金）	提案評価プロセスの検討
第3回	令和元年10月30日（水）	参加者によるプレゼンテーション・ヒアリング、提案審査

#### 3 提案評価結果

##### (1) 提案評価項目及び評価基準

評価委員会は、提案評価項目に基づいて、参加者が提出した事業提案書等の評価を行った。評価においては、評価委員会での審議を経て、参加者の提案が60点を上回ることを優先交渉権者選定の要件とした。提案評価項目及び評価基準は以下のとおり。

図表 4 提案評価項目

No	評価項目	配点
1	環境対策	5 点
2	効率的なシステム	15 点
3	安定処理	10 点
4	施工計画	10 点
5	運転管理業務	10 点
6	維持管理業務	10 点
7	環境管理業務	5 点
8	災害対応	10 点
9	運営効率化に資する提案	5 点
10	事業実施体制	5 点
11	事業計画における安定性	5 点
12	リスク管理方針	5 点
13	地域貢献	5 点
		合計 100 点

図表 5 評価基準

評価	評価基準	点数化の方法
A	継続的なサービス向上が期待できる提案がある	配点×1.0
B	現状よりサービス向上が期待できる提案がある	配点×0.75
C	現状と同水準のサービスが期待できる提案がある	配点×0.5
D	サービス提供に関する提案が不十分である	配点×0.25
E	評価できる提案が無い	配点×0.0

## (2) 提案評価点

参加者によるプレゼンテーション・ヒアリング、提案審査を踏まえて、委員全員の協議により、事業提案書等に対して最終的な審査・評価を行い、評価委員会として最終的な評価を取りまとめた。参加者の評価点は以下のとおり。

図表 6 参加者の提案評価点

No	評価項目	配点	エコマネジグループ
1	環境対策	5 点	3.75 点
2	効率的なシステム	15 点	14.25 点
3	安定処理	10 点	8.00 点
4	施工計画	10 点	7.50 点
5	運転管理業務	10 点	8.50 点
6	維持管理業務	10 点	7.00 点
7	環境管理業務	5 点	3.00 点
8	災害対応	10 点	7.50 点
9	運営効率化に資する提案	5 点	3.75 点
10	事業実施体制	5 点	3.25 点
11	事業計画における安定性	5 点	3.50 点
12	リスク管理方針	5 点	3.50 点
13	地域貢献	5 点	3.00 点
合計 (100 点満点)			76.50 点

図表 7 参加者の提案評価点及び順位

参加者	評価点
エコマネジグループ	76.50 点



## 第4. 総評

評価委員会は、提案評価項目及び評価基準に基づき、本事業の提案評価を行った。事業者提案について、評価委員会において評価された点及び課題とされた点は、以下のとおり。

### (1) 評価された点

- 環境対象項目の設定とその運転制御・管理の仕方、事業計画や経営プラン、リスクアセスメント等により想定されるリスクへの対処等が十分に検討されており、評価できる。
- また、地域への貢献に関しても、施設の特徴、地域での役割や事業性を考慮したサービスが提案されており、評価できる。

### (2) 課題とされた点

- 基幹的設備改良工事により新設するボイラ等の発電系統について、確実な運転により、提案された能力、省電力効果、費用対効果、機能等を発揮することが強く望まれる。
- 焼却炉の運転と並行して基幹的設備改良工事を行うため、効率性向上を図りつつも安全かつ着実な工事実施を要望する。
- 基幹的設備改良工事後の施設の運転に当たっては、機器寿命を適切に把握するとともに、施設の延命化や耐久性の向上に資する検査等を確実に実施することが望まれる。
- 施設の長期維持、運転及び作業の効率化、業務改善については、定常的な見直し、検証及び実効的な取組が行われることに期待したい。
- 地域の理解を得て施設を運営していくため、施設の運転情報の共有を図るとともに、地域住民への説明に協力いただきたい。

### (3) その他

今後のごみ処理の広域化の可能性も見据え、施設周辺に留まらない幅広い地域での地域貢献をお願いしたい。

優先交渉権者となったエコマネジグループにおいては、評価委員会で課題とされた各点について、今後の事業実施における真摯な対応を希望する。

本事業への提案作成にあたっては、多くの労力と負担があったと推察される。提案をまとめた参加者の本事業に対する熱意に深く感謝する。

## 第5. 優先交渉権者の選定

市は、以上の審査結果を踏まえて、エコマネジグループを優先交渉権者として選定した。